



2月の園だより

令和6年2月1日

目黒区立中町保育園園長

晴れた日には、各クラスが戸外へ出かけ、冬の散歩を楽しんでいます。自分たちで作った凧を持って、公園へ出かけ凧あげや鬼ごっこなどをして帰ってくると「たのしかった」と満面の笑みで話しています。

もうすぐ節分、立春を迎えます。園でも子どもたちが健康で元気に過ごせるよう、毎年豆まきを行っています。子どもたちは、少し前から鬼のお面作りや鬼に投げる豆を新聞紙で丸めてたくさん作っています。お面作りでは、紙袋や紙皿、画用紙、毛糸、色紙など様々な素材を使い、「こわい鬼にするんだ」「鬼の角は3本にするんだ」など、子どもたちがイメージして作った個性豊かなお面が出来上がりました。節分当日は、大きい鬼もやってきますが、小さい子どものクラスでは、5歳児が鬼のお面をつけ鬼役となり小さい子どもたちが怖がらないように、まずどのように部屋へ入ろうかと、子どもたちで相談をしています。相手のことを考えながら関わろうとする5歳児の姿から、遊びを通して主体性や相手を思いやる気持ちが育まれていることを感じます。

今年度も残すところ2か月となりました。自分の力を発揮して遊ぶ子どもたちの姿を見守り、「やりたい」という思いが「もっとやりたい」になっていくよう、やってみて“こうなった”と気づいたり、面白いと感じたりする体験を引き続き大切にしながら保育を進めていきたいと思ひます。

行事予定

節分
乳児お楽しみ会(0・1・2歳児)
身体計測 避難訓練



クラス懇談会

ちゅうりっぷ組(2歳児)
つき組(4歳児)
ほし組(3歳児)

＊＊ お店屋さんごっこの様子 ＊＊

3・4・5歳児の異年齢でお店屋さんごっこの準備を進めてきました。どのグループでもおひさま組が中心になり「〇〇作ろうよ」とアイディアを出すと「いいね」とみんなもイメージがふくらみ、今年はおばけカフェ・ゲーム屋・レストランの3店に決まりました。活動を進めていくうちにつき組・ほし組も“こんなことをやってみたい”という気持ちがあふれ、協力しながらイメージしたものを形にしてきました。お店屋さんごっこの当日、乳児クラスの子どもがどうしていいか迷っていると「〇〇がおすすめですよ」など声をかけ、やさしく手伝っている姿がありました。乳児クラスの子どもたちや子育て支援で来園した地域の親子も笑顔がたくさん見られました。その後、お兄さん・お姉さんから刺激を受け、乳児クラスでもお店屋さんごっこの遊びが盛り上がっています。

〈おばけカフェ〉



〈ゲーム屋〉



〈レストラン〉



♪ からだ ぽかぽか 外遊び ♪



ほし組（3歳児）『鬼ごっこやろうよ』

朝「今日も氷鬼しようよ」と嬉しそうに入室してきます。戸外では「鬼決めしようよ。鬼やりたい人？」と子どもたちから「じゃんけんぽん！」のかけ声がかかります。夢中で走っている間にタッチされてしまい「タッチされてない」と泣いていた子どもがいます。「そうなんだね、タッチされて悔しかったんだね。でも、次はタッチされないように逃げようよ」と励ますと「うん、もう1回やる」と気持ちを切り替えられるようになっていきます。氷になった子どもが「助けて」と言うと、走って逃げていた子どもが鬼にばれないようにそっとそばに来て「タッチ」と助けています。助けてもらった子どもは「ありがとう」と言ってまた嬉しそうに走り出して行きます。繰り返し遊ぶ中でルールを理解し、タッチされた悔しさがあっても次に向けて頑張ったり、友達を誘いあって楽しんだり、「またやろうね」と盛り上がっています。

つき組（4歳児）『転がしドッジボール』

転がしドッジボールが少し前からブームで友達を誘い遊んでいます。最初の頃は、ボールに当たると悔しくて泣いてしまう子どもや途中でやめてしまう子どももいました。しかし、回数を重ねていくと、当てられた子どもも友達にボールを当てて復活したいという気持ちが大きくなり、気持ちを切り替え楽しむ姿に変わってきました。ボールを転がすスピードも少しずつ速くなり、当てることも増え、さらに遊びが楽しくなっています。内野は「こっちだよ」とボールが来るのを身構えたり、外野は転がす前に「いくぞ」と気合いを入れたりしています。勝ち負けを経験することで子どもたちに葛藤もありますが、一人ひとりの思いに寄り添いながら、どうしたらいいのか一緒に考えていきます。最近はおひさま組に憧れ、ドッジボールをやり始めています。異年齢交流も楽しみながら、これからもルールのある遊びを一緒に楽しんでいきます。

おひさま組（5歳児）『楽しい交流会』

近隣の保育園の年長クラスとの交流会が進んでいます。油面公園やお互いの保育園を行き来しながら鬼ごっこやドッジボールなど楽しんでいます。最初はお互いにドキドキしながら自己紹介をし、バナナ鬼など新しい遊びを教えてもらった後で「やってみよう」とみんなで遊びました。最初は、自分のクラスの友達を追いかけていましたがなかなか捕まらず、そのうちに「挟み撃ちしよう」と園の垣根を越えて協力する姿が見られました。

また、ドッジボール対決は大変白熱した勝負となりました。友達と一緒に作戦を立て、頑張って勝つと、とても嬉しそうに友達と喜びを分かち合っていました。遊びを通して距離も縮まり、最後は「また遊ぼうね」とお互いに手を振り合っていました。「次はいつ遊ぶの？」と早くも次回の交流会を楽しみにしている子どもたちです。